

水をかけ派手に厄落とし

菅福地区伝統奇習行事「ホトホト」



ホトホト役に盛大に水をかけ厄払い

みのかさ姿のホトホト役に水をかけて厄を払う、菅福地区の伝統奇習行事「ホトホト」(里山元気塾主催)が、2月6日に行われました。

これは、厄年を迎える人の家庭に、神の使い「ホトホト」が、お札やわらの馬、しめ縄などの縁起物を持って訪れ、家の人から祝儀の品を受け取って帰るところに水をかけると厄が落ちるといふもので、古くから菅福地区に伝わる伝統行事です。

今年も、数え年で61歳を迎える2軒の家庭で行われ、家族や地域住民が総出でホトホト役の男性に水をかける姿が見られました。

寒さを乗り越え、心身を鍛える

日野川で空手寒げいこ



冷たい日野川で拳を突き出し、気合を入れる

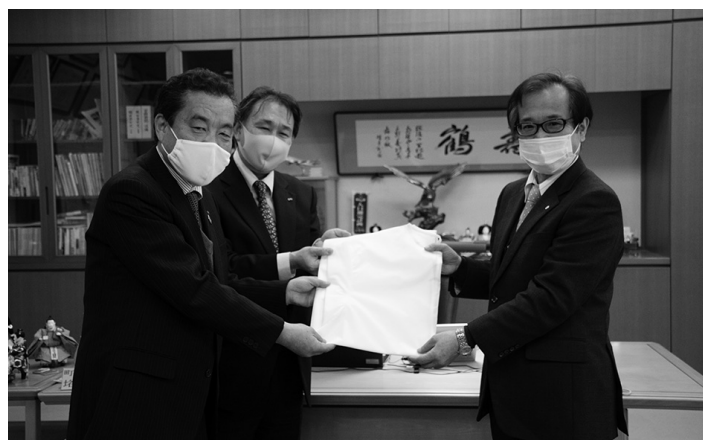
寒さの中で心身を引き締め、今年一年の精進を誓う、少林寺流空手道錬守会館鳥取地区本部(松本達也本部長)による空手寒げいこが、1月31日、町役場前駐車場と日野川で行われました。

当日は、郡内外の小学生や中学生などを中心とする多くの会員が参加。子どもたちは、空手の形の演武、足蹴りでの板割りなど、一年間の成果を披露しました。

最後は、家族らの声援を背に勇気を出して身を切る冷たさの日野川へ。「えいっ、えいっ」とかけ声を合わせ、拳を突き出していました。

新型コロナウイルス対策に役立てて

安泰ニットが感染症対策用の使い捨て防護服を寄贈



▲月見さん(左)と白木さん(中央)と埴田町長

1月7日、安泰ニット株式会社(月見靖常務執行役員)と、株式会社ヤマセン(白木良代表取締役社長)が役場を訪れ、感染症対策用の使い捨て防護服(アイソレーションガウン)300枚を寄贈しました。

防護服は、不織布で作られており、ウイルスを固着させ周囲に広げないため、感染防止が期待できます。

「医療関係者や高齢者施設など、必要な場所で役立ててほしい」と月見さん。寄贈された防護服は、町内の病院や介護施設で使用されます。



▲簡単に着脱できる使い捨て防護服



地域を元気にしてくれた今岡さん(左)と白川さん(右)

代表して今岡さんが、「eスポーツで地域の皆さんに楽しんでもらえたことがうれしかった。後輩たちが活動を続けて、日野町を盛り上げてほしい」と話し、後輩へメッセージを送りました。



初めてオンラインで開催された発表会

発表会では、1年生は地域でフィールドワークを行った成果を、2年生は総合的な探究の時間の成果を、3年生は自分でテーマを決め調査研究をする課題研究の成果を発表しました。また、終了後には、さまざまな活動を通して地域とかわり、地域を元気にしてくれた日野高校の生徒に、町から感謝状が贈られました。

地域で得た学びを生かして
学びの成果発表会・「地域を元気にした高校生」感謝状贈呈式

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第90回

「たころばち」

昨年末は、近年類をみない大雪が降りましたね。コートや洋傘のない時代、冬の外出着は「蓑笠」がスタンダード。カヤなどを編んで作った蓑に、頭にはタケノコや竹の皮を編んだ浅い円筒形の「たころばち」をかぶっていました。

今ではこの言葉を聞くことも、実際にかぶることもほとんどありませんが、不思議な言葉なので、由来などを調べてみました。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会

<西部消防局からのお知らせ>

春季全国火災予防運動の開催について

火災はちょっとした不注意から発生し、大切なものを奪っていきます。皆さんも、この機会に家族や地域の人と身の回りの防火防災について話し合い、火災が起こらない環境づくりをしましょう。

防火標語

その火事を
防ごうあなたに

金メダル

実施期間

3月1日(月)～7日(日)

【問合せ先】

西部消防局予防課（電話 0859-35-1954）

